

国立研究開発法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 主催  
令和6年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間 連絡協議会参加者（医師・事業/事務担当者）向け研修会  
日時：令和6年7月19日（金） 場所：東京.品川

## 政策研究班からの進行状況の報告

# 様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の 人権への望ましい配慮に関する研究

国立病院機構長崎医療センター-/長崎県病院企業団

八橋 弘

# COI開示 (2019-2023年)

## 国立病院機構長崎医療センター

### 八橋 弘

発表に関連し、開示すべきCO I 関係にある企業等として、

- ① 顧問： なし
- ② 株保有・利益： なし
- ③ 特許使用料： なし
- ④ 講演料： なし
- ⑤ 原稿料： なし
- ⑥ 受託研究・共同研究費： なし
- ⑦ 奨学寄付金： なし
- ⑧ 寄附講座所属： なし
- ⑨ 贈答品などの報酬： なし

# 様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の 人権への望ましい配慮に関する研究

国立病院機構長崎医療センター  
八橋 弘

**目的：** 偏見や差別の解消のために、様々な場における人権尊重の推進方策やその有効性を検証する。  
特に、肝炎患者と関わることが多い医療機関等における啓発や、肝炎患者等に対する適切な  
配慮について学ぶことができる資料について検討する。

## 研究組織

### 【研究代表者】

八橋 弘 (国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター)

### 【研究分担者】

四柳 宏 (東京大学医科学研究所・先端医療研究センター)

米澤 敦子 (東京肝臓友の会)

中島 康之 (全国B型肝炎訴訟大阪弁護団)

梁井 朱美 (全国B型肝炎訴訟九州原告団)

及川 綾子 (薬害肝炎全国原告団)

浅井 文和 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学,元朝日新聞編集委員)

是永 匡紹 (国立国際医療研究センター 国府台病院 肝炎情報センター)

磯田 広史 (佐賀大学医学部附属病院・肝疾患センター)

## 今までの経緯

平成23年度から3年間、「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」班（研究代表者：龍岡資晃元学習院教授）が組織され研究が実施された。

平成28年には指針の改定が行われ、肝炎患者等に対する不当な差別や、それに伴う肝炎患者等の精神的な負担が生じることのないよう、正しい知識を身に付け、適切な対応に努めることなどが明記された。

平成29年度から3年間「肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究」班（研究代表者：八橋弘）が、令和2年度から3年間「ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究」班（研究代表者：八橋弘）が組織され、研究を実施した。

# 様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究

## 研究計画、活動計画

### ① 研究班ホームページの充実

ウイルス肝炎の理解度クイズと偏見差別を防止するための事例/解説を内容とする研究班ホームページ（HP）の充実

初年度

HPの内容の更新<sup>#</sup>



2年度

HPの普及<sup>#</sup>



3年度

分析<sup>#</sup>、論文化

<sup>#</sup>データレイクシステム：解析委託業者

### ② 公開シンポジウム、肝炎講義、肝炎授業の開催

偏見・差別の地域差を考慮した上での公開シンポジウム、肝炎講義、患者による肝炎授業の開催

全国3か所で実施



全国3か所で実施



全国3か所で実施

### ③ 認知度/理解度の調査、調査研究

医療従事者（非専門医/歯科医を含む）を対象としたウイルス肝炎の認知度/理解度調査、偏見/人権に関する調査研究

研究計画書の作成と倫理委員会の承認



調査



分析、報告、論文化

### ④ 啓発教材の作成

学校や施設などでの差別偏見の解消や防止を目指した啓発教材（動画）の作成

動画のコンセプトの協議と作成



## 期待される成果

1. 医療従事者と肝炎患者等による、肝炎患者等の人権の尊重について考えるシンポジウムやグループワークを実施する。
2. 様々な生活の場におけるウイルス性肝炎の認知度や理解度等を調査し、偏見差別を防止するための教育的資材（HP・SNSを含む）を作成する。
3. 偏見差別を解消する資材について、その効果的な普及方法を構築し、効果を検証する。
4. 医療従事者（非肝臓専門医や歯科医師も含む）等をターゲットとしたウイルス性肝炎の認知度や理解度等を調査する。
5. 様々な場面に対応する、肝炎患者の人権への配慮について考える資材の作成し、その普及をはかる。
6. 肝炎患者の偏見、差別による被害防止対策の普及方法を開発する。
7. 偏見、差別を防止するための教育的資材を用いた効果的な学習方法を提示する。
8. 偏見差別を防止するための事例集・解説集について効果的な普及方法を提示する。
9. 偏見差別の地域差について検証し、既存の事例集・解説集に加え、偏見・差別の地域差を踏まえた防止策を提示する。
10. エビデンスレベル（評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等）を示す資料（研究班が作成した英文ないし和文の原著論文、研究班で収集した論文集等）を提示する。

# ホームページ (1)



## ウイルス肝炎、ウイルス肝炎患者について 理解を深めましょう

厚生労働行政推進調査事業費（肝炎等克服政策研究事業）

総表示回数  
95,242

### ウイルス肝炎の理解を深めましょう

一問一答で、  
ウイルス肝炎についてのあなたの理解度をチェックできる！

[理解度クイズはこちら](#)

### ひとりで悩まないで！

患者さんやご家族から寄せられた相談と専門家からの回答を紹介します。

[偏見差別相談事例はこちら](#)



# ホームページ (2)



啓発教材動画「考えよう 感染ること」

第1弾 先生の告白



第2弾 本当のファインプレー



第3弾 家族の絆で繋ぐ未来



第4弾

coming soon...

## ホームページ (3)

### What's New

- 2024.06.21 公開シンポジウム 静岡 (2024/8/24) 開催のお知らせ
- 2024.06.21 啓発教材動画 第3弾「家族の絆で繋ぐ未来」を公開しました(外部リンクに移動します)
- 2024.04.05 肝炎患者のおかれた状況について考えるワークショップを開催しました
- 2024.01.17 差別偏見に関する啓発教材動画 第2弾を作成しました(外部リンクに移動します)
- 2024.01.09 令和5年度第2回公開シンポジウムを開催しました
- 2023.12.18 偏見差別相談事例を追加しました (Q15~18)
- 2023.10.06 公開シンポジウム 秋田 (2023/12/10) 開催のお知らせ ※終了しました
- 2023.09.22 令和5年度第1回公開シンポジウムを開催しました
- 2023.06.23 公開シンポジウム 長野 (2023/8/26) 開催のお知らせ ※終了しました
- 2023.03.15 偏見差別相談事例を追加しました (Q12~14)

『ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究』班

『様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究』班

## ホームページ (4)

### 差別偏見相談 11事例 (2023年3月末まで)

1. ウイルス排除後も歯科で治療を断られる。定期健診とか歯石除去も嫌がられる。
2. 看護学校で看護師を目指している。実習の病院が受け入れを拒否する可能性もあると学校に言われた。B型肝炎だと看護師になれないのか。
3. 会社でこれまで肝炎ウイルス検査をしなかったのに、今年から始めると聞き悩んでいる。受けなくても大丈夫か？何か言われそうで不安。
4. 以前から施設に入居している子供がC型肝炎で、現在ウイルス排除に成功して2年経過した。治療前から入浴も食器も別にされていたが、今もその対応が続いている。施設側は、「再発の可能性があるから」と言うが、その後も陰性が続いており、肝機能も正常値。この対応がいつまで続くのか疑問。
5. 「どんな小さな傷があるかわからないので、お風呂は一番最後に入れてもらう」と言われ傷つき、その後デイサービスを受けるのをやめた。
6. 出産後、子供に母子感染防止のためのワクチンを打ったが、陽性になってしまった。B型肝炎のことも伝えた上で保育園入園が内定したが、その後自宅待機を命ぜられた。
7. これから介護の仕事をしようと思っているが、施設にB型肝炎のことは伝えるべきか。
8. 過去に就職時の健康診断時にB型肝炎の抗原陽性と伝えると抗原陽性の人は採用できないと言われ不採用になった。今回、別の就職先が決まったが、健康診断を受けるように言われている。また不採用になるのか不安である。
9. B型肝炎のワクチンを打てば、感染する心配はないのか。
10. 家族が、献血でB型肝炎の抗原陽性とわかり、今後のことが心配。
11. つきあっている人と結婚を考えているが、B型肝炎ということは伝えていない。伝えなければと思っているが、言い出せない。どうしたらよいのか。

差別偏見相談 追加7事例 (2023年4月以後)

**12.** 3年前、ネイルサロンで施術（ネイル）をしていただいている人にB型肝炎であることを話しました。その後も普通に施術（ネイル）を行ってもらっていました。ある日突然、施術を行ってもらっている人から「出入り禁止」とのメールが届きました。その理由を聞くと「ネイル協会から感染対策のため、今後の施術を断ってください。」との助言があったそうです。3年前にB型肝炎であることを話したことが原因かと思います。とてもショックでした。主治医にも、ネイルサロンでの出入り禁止の件を相談したら、それは差別・偏見だねと言われました。

**13.** 治療を受けHCVウイルスを排除したあとに、白内障の術前検査でHCV抗体が陽性と出てしまった。再検査の結果、抗体価60なのでC型肝炎に感染していると言われた。看護師に嫌な目つきで見られるし、とても不愉快な思いをした。再発？もう大ショック。どうしてこんなことになったのか。

**14.** 介護施設に入居するため問い合わせたら、4か所で肝炎の方は受け入れられないと言われた。核酸アナログを何年も服用し、HBV DNA検出せず※の状態、医師にも感染のリスクはないと言われている。肝炎への理解が進んでいないことに呆れた（※HBS抗原陽性でHBV DNA検出せず）

**15.** 歯科でC型肝炎と伝えたと、仮詰めだけして、次の予約をずっと先にさせられた。来てほしくないんだなと思い、大学病院で診てもらうことにした。個室で医師は防護服を着ての診察で、それは仕方ないと思っていたが、SVRを伝えた後も状況はまったく変わらなかった。

**16.** 会社の検診でB型肝炎とわかり、核酸アナログ製剤を服用している。専門医から「感染に気を付けるように」と念を押されて以来、人前に出られなくなった。

**17.** B型肝炎キャリアの女性との結婚を考えている。自分がワクチンを打って抗体がつけば、感染しないか？ワクチンを打てば子供も90%以上の確率で感染予防できるとネットにあったが、本当か？

**18.** 介護施設に入居の問い合わせをしたら、B型肝炎のため断られた。核酸アナログを服用し、ウイルスは検出せずの状態、感染のリスクはないと言われている。入居できるところを探している

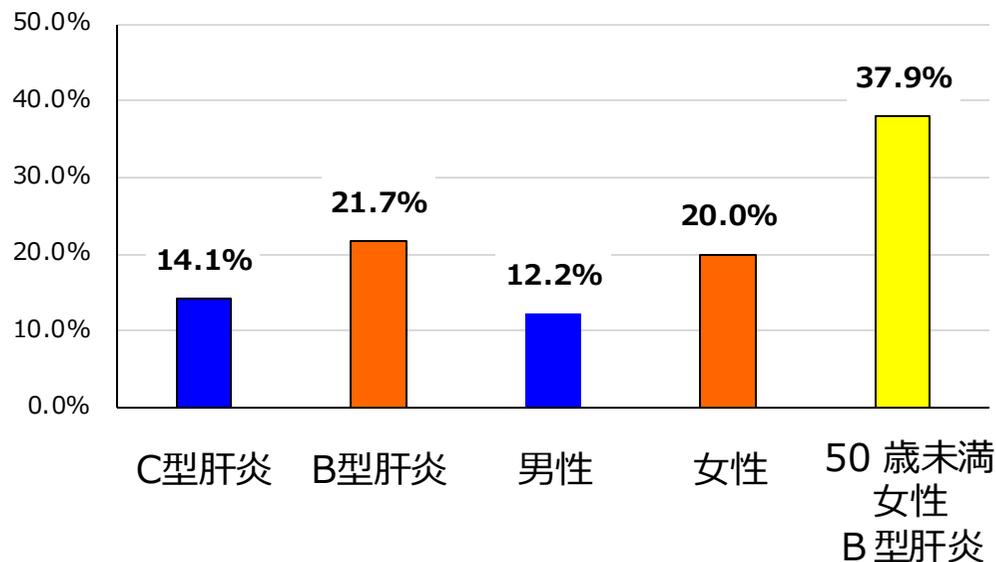
## ホームページ (6)

### 肝炎コラム：肝炎患者さんが感じた差別偏見の頻度について 2021.06.24

この研究班では、実態調査として、「肝炎に感染していることで、差別を受けるなど嫌な思いをしたことがありますか」という質問を、**4789 人の肝炎患者さん**にお尋ねしました。その調査の結果、「あります」と回答された方の頻度は **16.3%**でした。

患者さんの背景因子別に頻度を検討すると、**C 型肝炎患者さん (14.1%)** よりも **B 型肝炎患者さん (21.7%)** で、**男性患者さん (12.2%)** よりも **女性患者 (20.0%)** で、高齡の方よりも若年の方でその頻度が高いことがわかりました。これらの因子が重なった **50 歳未満の女性の B 型肝炎の患者さん**ではその頻度は **37.9%**でした。

肝炎に感染していることで差別を受けて困ったことがある患者さんの頻度は少なくない、と研究班では考えています。



## 肝炎コラム：感染が成立する為に必要な3要素 2021.06.25

医学的な話になりますが、ウイルスや細菌などの病原体による感染が成立する為には3つの要素が必要とされています。

一つ目は**感染源**で、まずウイルスや細菌などの病原体が存在することが必要です。  
二つ目は**感染経路**で、病原体となる微生物が体の中に侵入する経路が必要です。侵入経路としては、経口感染、空気感染、飛沫感染、接触感染、経皮感染などがあります。  
三つ目は、感染の原因となる微生物に対して**感受性のある宿主**（人）が必要です。感受性のある宿主とは、その病原体に対して抵抗力をもっていない人です。ワクチンを受けた人は、病原体に対して抵抗力をもった状態になります。

これらの3つの要素が揃わないと感染が成立しないことから、3つのうち、どれか一つを取り除くことで感染が成立しなくなります。

具体的には、①**感染源を排除する**、②**感染経路を断つ**、③**ワクチンを接種する**、などこれらの行為は全て感染予防対策となります。

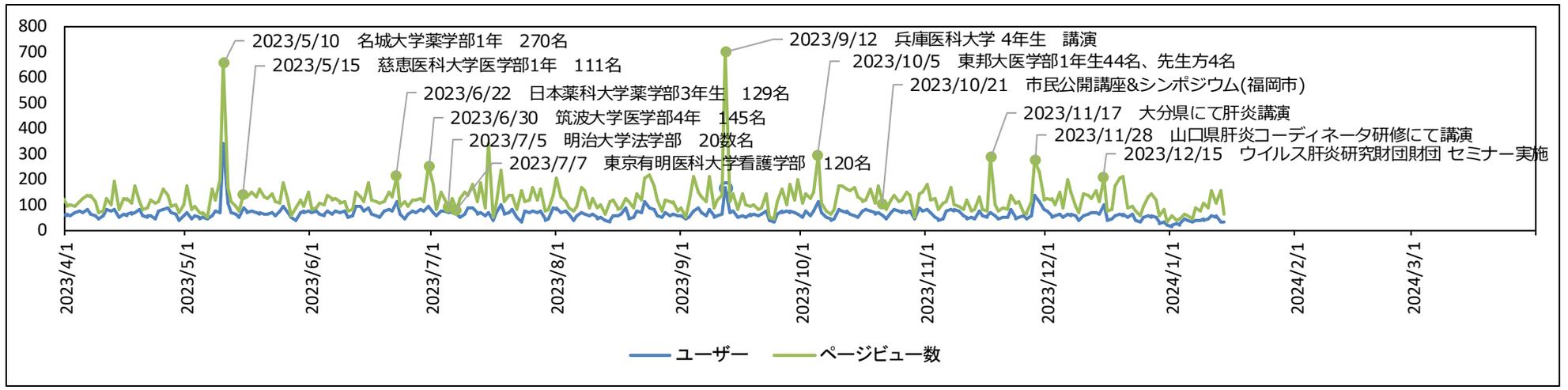
感染が成立する為には、これらの3つの要素が必要であることを改めて理解いただきたいと思います。

# ① 研究班ホームページの充実

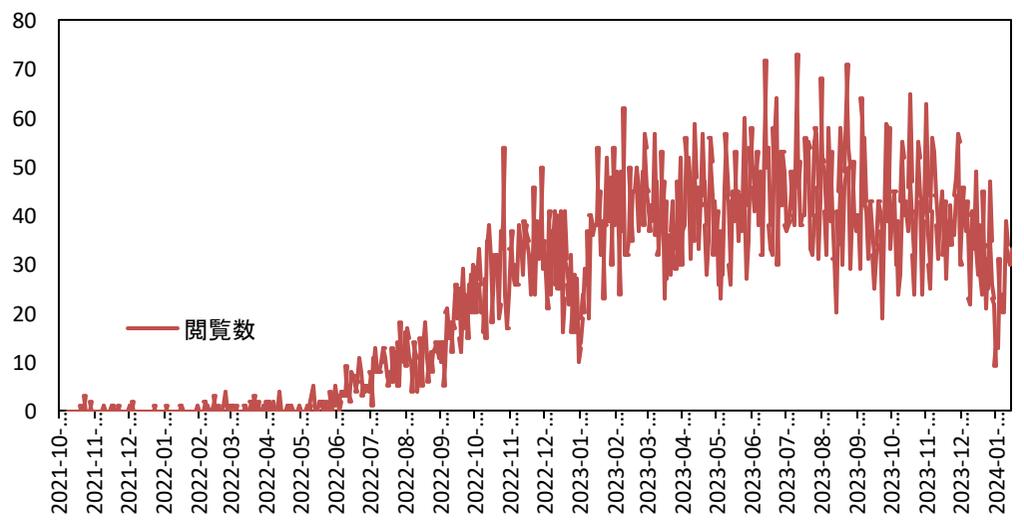
## ホームページへのアクセス状況

2021/8/2-2024/1/14の期間：ユーザー数34236 表示回数75471

今年度（2023年4月1日-2024年1月14日）のアクセス状況（ユーザー数18682、表示回数35759）と講演活動



### Googleによる検索（2021年10月8日～2024年1月14日）



検索クエリ	閲覧数上位10件	閲覧数	検索回数	閲覧率
B型肝炎キャリアの人と付き合い	2397	11262	21.3%	
B型肝炎 風呂で感染	537	14277	3.8%	
C型肝炎 介護 入浴	289	2272	12.7%	
C型肝炎 完治後 再発	246	2939	8.4%	
B型肝炎 看護師になれない	207	1319	15.7%	
B型肝炎 介護 入浴	201	1309	15.4%	
B型肝炎 入浴 順番	191	3003	6.4%	
感染成立の3要素	189	4253	4.4%	
B型肝炎 就職差別	177	678	26.1%	
感染の3要素	166	3193	5.2%	

『ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究』班  
『様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究』班

# 公開シンポジウムとワークショップ

2023.08.26.長野（松本）

2023.12.10.秋田

2024.02.25.東京

様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究班では、肝炎ウイルス感染について、肝炎ウイルス感染が公平な機会を受け得ることなく社会において差別を受けている現状を認識し、その改善を目的として、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。

今回は、肝炎患者、肝炎患者の方を対象として、肝炎患者の意見や声に基づいてともに考えを公開シンポジウムを上記のように開催いたします。

関心のある方に参加いただけると思います。

研究代表者 八橋 弘  
（国立感染症研究所肝炎センター 部長）

13:00 開会挨拶 八橋 弘  
-司会 西郷 豊  
-研究班紹介 八橋 弘  
-研究や活動に関する希望事項の紹介  
米澤 敦子 東京理科大学准教授

13:15 休 憩

13:30 パネルディスカッション  
-司会 浅井 文和  
パネリスト 八橋 弘  
西郷 豊  
米澤 敦子  
浅井 文和  
及川 綾子  
中島 謙之  
横田 広史

13:45 閉会挨拶 八橋 弘

参加申込み  
このQRコードから  
参加申込みをお願いします。

申込期間：8月15日(水)～20日(日)まで

申込受付：8月15日(水)～19日(土)まで

申込受付時間：10時～17時

申込受付場所：〒385-0001 長野県松本市中央公民館Mウイング3F 会議室3-1,3-2

お問い合わせ：〒385-0001 長野県松本市中央公民館Mウイング3F 会議室3-1,3-2  
TEL: 0557-32-3321 (内)

様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究班では、肝炎ウイルス感染が公平な機会を受け得ることなく社会において差別を受けている現状を認識し、その改善を目的として、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。

今回は、肝炎患者、肝炎患者の方を対象として、肝炎患者の意見や声に基づいてともに考えを公開シンポジウムを上記のように開催いたします。

関心のある方に参加いただけると思います。

研究代表者 八橋 弘  
（国立感染症研究所肝炎センター 部長）

13:00 開会挨拶 八橋 弘  
-司会 浅井 文和  
-研究班紹介 八橋 弘  
-研究や活動に関する希望事項の紹介  
米澤 敦子 東京理科大学准教授

13:15 休 憩

13:30 パネルディスカッション  
-司会 浅井 文和  
パネリスト 八橋 弘  
西郷 豊  
米澤 敦子  
浅井 文和  
及川 綾子  
中島 謙之  
横田 広史

13:45 閉会挨拶 八橋 弘

先着70名限定  
秋田

2023  
12.10 (日)  
13:00-15:30(開場12:30)

にぎわい交流館AU(あう) 研修室+2

参加申込み  
下のQRコードから参加申込みをお願いします

申込期間：12月5日(水)～10日(月)まで

申込受付：12月5日(水)～9日(土)まで

申込受付時間：10時～17時

申込受付場所：〒010-0001 秋田県秋田市にぎわい交流館AU(あう) 研修室+2

お問い合わせ：〒010-0001 秋田県秋田市にぎわい交流館AU(あう) 研修室+2  
TEL: 010-657-52-3121 (内)

様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究班では、肝炎ウイルス感染が公平な機会を受け得ることなく社会において差別を受けている現状を認識し、その改善を目的として、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。

今回は、肝炎患者、肝炎患者の方を対象として、肝炎患者の意見や声に基づいてともに考えを公開シンポジウムを上記のように開催いたします。

関心のある方に参加いただけると思います。

研究代表者 八橋 弘  
（国立感染症研究所肝炎センター 部長）

11:30～11:35 開会挨拶 八橋 弘  
11:35～12:30 議題ディスカッション  
<基 行>

12:30～13:00 昼 食 (準備いたします)

13:00～14:00 各グループ発表  
(発表資料・質疑応答あり)  
<基 行>

14:00～14:30 閉会挨拶 八橋 弘  
14:30～14:35 落着会

研究員

- 八橋 弘 国立感染症研究所肝炎センター 部長
- 西郷 豊 東京理科大学准教授
- 浅井 文和 国立感染症研究所肝炎センター 部長
- 米澤 敦子 東京理科大学准教授
- 及川 綾子 東京理科大学准教授
- 中島 謙之 東京理科大学准教授
- 横田 広史 東京理科大学准教授
- 尾永 匡樹 東京理科大学准教授

申込期間：2月15日(水)～20日(日)まで

申込受付：2月15日(水)～19日(土)まで

申込受付時間：10時～17時

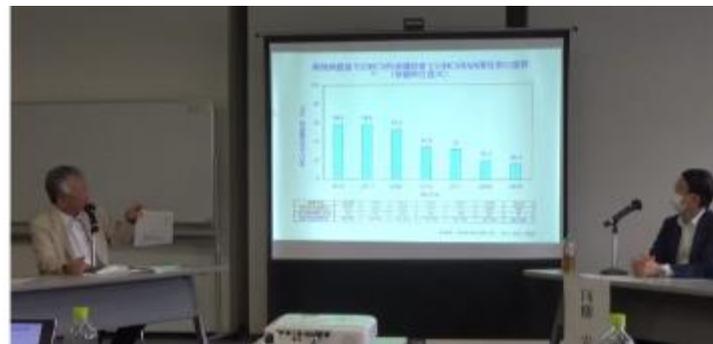
申込受付場所：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-5-16 (新橋ビル11F)

お問い合わせ：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-5-16 (新橋ビル11F)  
TEL: 03-557-52-3121 (内)

## ②公開シンポジウム、肝炎講義、肝炎授業の開催

### 令和5年度第1回公開シンポジウム（長野・松本）に参加された方から寄せられた感想とご意見

- 患者さん本人、医療従事者の方、一般の人のそれぞれが正しく理解できていないことで差別が生じていることが事例やディスカッションを通してわかりました。B型、C型というウイルスのことだけでなく、ウイルス量にも着目する必要があるということが強調されていた印象で、より研究が深くなっていると感じました。
- それぞれの理解を広げていくための教育や方策は検討が大変だと思いますが、がんばっていただきたいと思います。研究、ご苦労さまです。ありがとうございました。
- 近隣の参加者の方々との貴重な話を聞く事ができて驚きでしたが、勉強になりました。自分はまだ苦労してないのかなと思ったりしました。前向きに医学の進歩に期待して生きていきます。
- 偏見差別で悩んでいる人はまだまだたくさんいて、患者同志で話をするともみなさん色々な話が出て来ます。この様なシンポジウムをもっとたくさん行って頂き、多くの人達に聞いて頂きたいと思います。
- 毎回、興味があり出席させて頂いていますが、今回はウイルスマーカの説明があり、役に立ちました。事例研究以外にも、少しずつこのような取り組みをして頂けると嬉しいです。勉強にもなります。
- わかりやすい説明をありがとうございました。胸のつかえがとれました。次世代の健やかな成長、祈るばかりです。新薬の話も聞けて、ホッとします。



## ②公開シンポジウム、肝炎講義、肝炎授業の開催

### 令和5年度第2回公開シンポジウム（秋田）に参加された方から寄せられた感想とご意見

●5人に1人もB肝にかかっている事を知り、とてもびっくりしました!! 電話相談はすごくすごく心の支えで、ありがたい存在です。ずっと続けてほしいです。同じ肝臓の病気というだけで、気持ちにもよりそってもらえるので、ぜひこれからもがんばって頂きたい。本人じゃないとこの辛さは分かってもらえないと思います。

●具体的な差別、偏見事例や、あるべき対応も知ることができて良かった。

●肝炎自体の最近の情報に触れることがないことで、心ない発言や対応をし、それで肝炎患者さんが差別偏見を受けて（感じて）しまう例が多いと感じました。

●色々な面においての事例、ありがとうございました。どの問題も、昔も今も変わっていない、進歩がない気がします。色々な方面に情報を伝える大変さを感じます。特にこれからの産婦人科には、国から、医師会からの対応を期待します。。

●前提知識や差別、偏見の実態など勉強になりました。

●業務でウイルス性肝炎を担当するまで、TVCMや新聞広告で見た程度の知識しかなく、本日のお話を聞いて差別の実態を聞いておどろきと気付きが多くありました。

今後の業務等に活かしてゆきたいと思います。



### 肝炎患者のおかれた状況について考えるワークショップ（東京）を開催

2024年2月25日（日）に東京都内で「肝炎患者のおかれた状況について考えるワークショップ」を開催した。「肝炎授業について、差別・偏見防止のためにできること」と題して、中島弁護士の基調講演の後、各グループに分かれて**医療現場における差別・偏見の起こる背景（要因）**について議論した。

- 肝炎患者さんと医療従事者のコミュニケーション不足によるものがある
- 肝炎患者と医療従者の2者間だけでなく、一般患者を含めた3者間の視点が必要

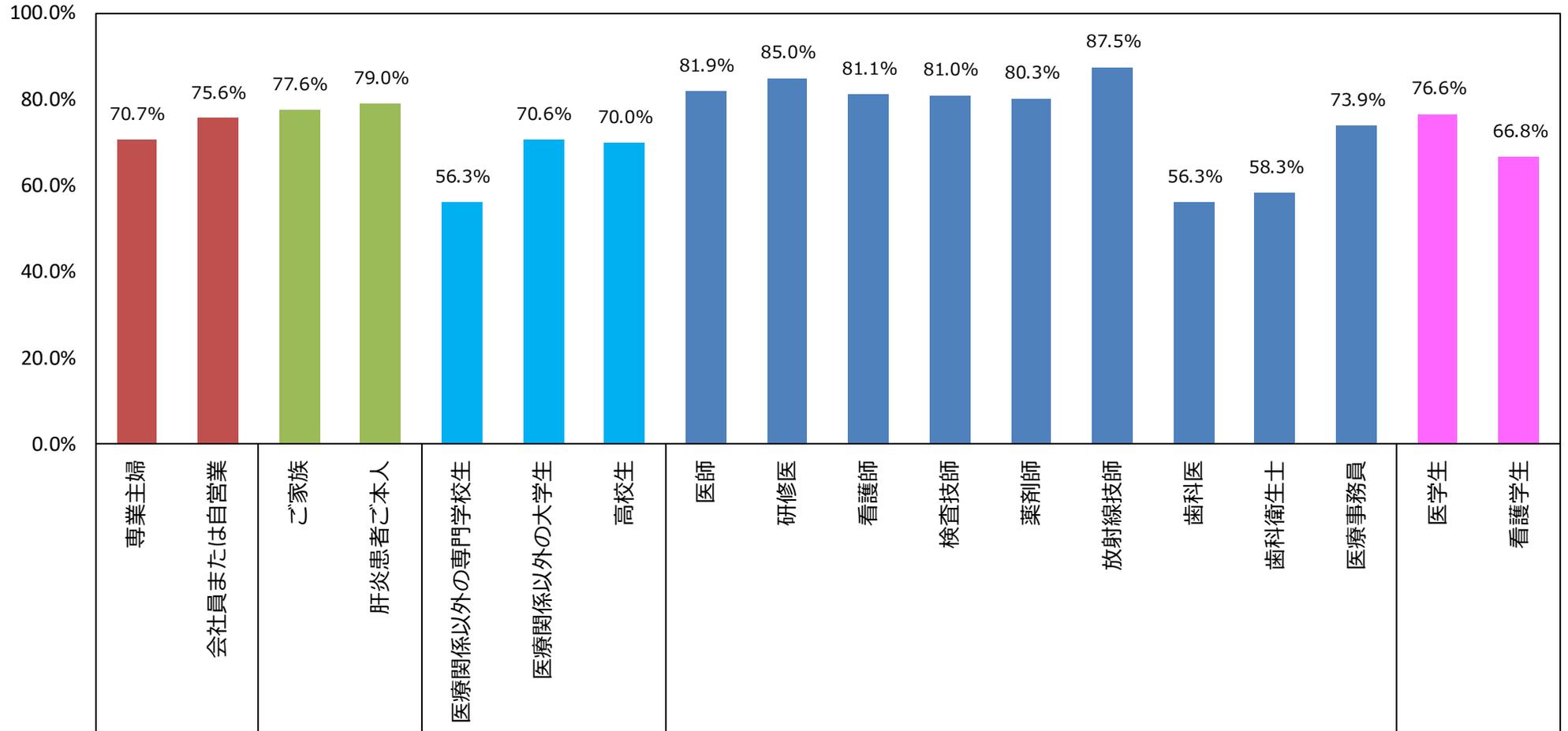
研究班では、肝炎授業の教材を作成するために来年度もワークショップを開催する予定である。



# 肝炎理解度クイズ

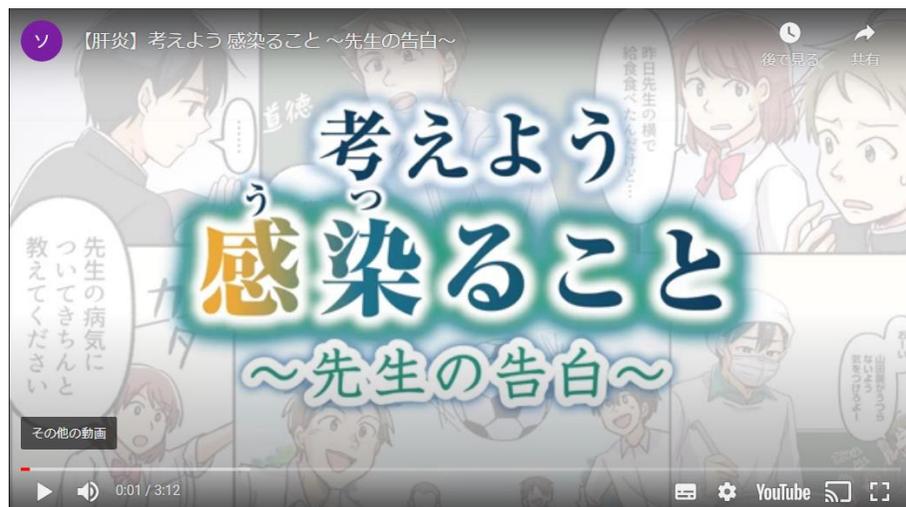
1問1答形式のクイズで、ウイルス肝炎を正しく理解できる！

## 肝炎理解度クイズ 属性別平均正解率 (N=1020)



## ④啓発教材の作成

### 3分12秒の動画の作成と公開 (学校事例Ver.1 先生の告白)



『ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究』班

### 2分32秒の動画の作成と公開 (学校事例Ver.2 ケガの手当て)



『様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究』班

## 動画の公開 (Ver1.2) と今後の作成予定 (Ver3.4)

Ver.1 : 先生の告白 (学校事例) [【ウイルス性肝炎】考えよう 感染のこと～先生の告白\(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=...)

Ver.2 : ケガの手当て (学校事例) [【ウイルス性肝炎】考えよう 感染のこと～本当のファインプレー～ \(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=...)

Ver.3 : 孫の抱っこを拒否 (家庭事例) [【ウイルス性肝炎】考えよう 感染のこと～家族の絆で繋ぐ未来～ \(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=...)

Ver.4 : 一緒に食事を拒否 (友人との事例)

『様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究』班



このQRコードの読み取りが  
肝炎患者さんが抱える悩みと苦悩への理解を深める第一歩

# 第60回日本肝臓学会総会（熊本） 特別企画 2024.06.14

## 肝がんゼロを目指した肝炎等克服政策研究の成果 （疫学、検査、連携、人材育成、人権、政策）

肝臓 65巻 Suppl. (1) (2024) 第60回 日本肝臓学会総会

### 特別企画3

#### 肝がんゼロを目指した肝炎等克服政策研究の成果 （疫学、検査、連携、人材育成、人権、政策）

第2日目 6月14日（金）15:00~17:30

第8会場（熊本城ホール 3階 B2+B3）

司会 八橋 弘 長崎医療センター臨床研究センター肝臓内科  
四柳 宏 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野  
是永 匡紹 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター

基調講演 我が国の肝炎対策における政策研究の役割

厚生労働省健康生活衛生局がん・疾病対策課肝炎対策推進室 岡野 和薫 (おかの かずゆき)

SS3-2 我が国における肝炎ウイルス感染状況と肝炎・肝臓対策の現状

広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学 田中 純子 (たなか じゅんこ)

SS3-3 全国の肝炎ウイルス検査受検状況一厚労省肝炎政策研究班調査報告：2011・2017・2020年度国民調査およびパイロット調査の結果から一

広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学 杉山 文 (すぎやま あや)

SS3-4 全国オンライン登録データに基づいた1996-2023年の小児HBV・HCV感染小児数の検討

和歌山県立医科大学小児科 田尻 仁 (たじり ひとし)

- SS3-5 ウイルス性急性肝炎の発生动向調査研究から  
東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野 四柳 宏 (よつやなぎ ひろし)
- SS3-6 歯科領域における肝炎対策の実態調査と課題解決について  
徳島大学大学院歯薬学実践地域診療・  
医学部 消化器内科 河野 豊 (かわの ゆたか)
- SS3-7 ゲーミフィケーションによる肝炎医療の均てん化に向けた新たな普及啓発の実践について  
国立国際医療研究センター肝炎情報センター 竹内 泰江 (たけうち やすえ)
- SS3-8 わが国における肝炎診療水準の均てん化を目指して一肝炎医療指標の策定と社会実装  
熊本大学病院消化器内科 瀬戸山博子 (せとやま ひろこ)
- SS3-9 自治体事業指標を用いた都道府県毎の肝炎医療への取り組みの検証  
金沢大学附属病院消化器内科 島上 哲朗 (しまかみ てつろう)
- SS3-10 ICTツールである地連ネットワークの肝炎診療への活用  
金沢大学附属病院消化器内科 島上 哲朗 (しまかみ てつろう)
- SS3-11 肝がん・重度肝硬変の医療水準と患者のQOL向上等に資する研究  
東京大学医学部附属病院消化器内科 建石 良介 (たていし りょうすけ)
- SS3-12 職域健診時における肝炎ウイルス検査の阻害・促進因子と血小板値活用の意義  
東海大学医学部基礎診療学系衛生学公衆衛生学 立道 昌幸 (たてみち まさゆき)
- SS3-13 歯科の特性に基づいた歯科医師会主導による新しい肝炎対策  
名古屋市立大学病院中央臨床検査部 井上 貴子 (いのうえ たかこ)
- SS3-14 多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究  
医療法人ロコモディカルロコモディカル総合研究所 江口有一郎 (えぐち ゆういちろう)
- SS3-15 様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究班の活動報告  
東京肝臓友の会 米澤 敦子 (よねざわ あつこ)